

新型コロナウイルス感染症  
感染防止対策実施による  
事業継続のための対応マニュアル

令和4年1月

第一コンクリート株式会社

モデルマニュアル提供元



独立行政法人 労働者健康安全機構

神奈川産業保健総合支援センター

# 目 次

- 1 目的・方針
  - 1.1 目的・方針
- 2 体制と役割
  - 2.1 管理範囲
  - 2.2 体制と役割
- 3 感染者発生による想定されるリスクと感染レベル
  - 3.1 感染者発生による想定されるリスク
  - 3.2 感染レベルの区分
  - 3.3 感染レベルに応じた対応
- 4 感染防止策
  - 4.1 職場における感染防止対策
  - 4.2 従業員自己健康管理による感染防止策
- 5 感染者および濃厚接触者発生時の対応
  - 5.1 感染者または濃厚接触者発生時の報告
  - 5.2 感染情報の公開
- 6 職場復帰に向けて
  - 6.1 従業員が感染者となった場合の職場復帰
  - 6.2 従業員が濃厚接触者となった場合の職場復帰
  - 6.3 職場復帰の受入れ体制
  - 6.4 職場復帰におけるメンタルヘルス（後遺症対応含む）
- 7 関連情報収集（主な入手先）
- 8 新型コロナウイルス感染症に関する公的相談先

## 1 目的・方針

### 1.1 目的・方針

新型コロナウイルス感染症による感染防止対策を実施し、従業員の健康と安全を確保すると共に、当社が新型コロナウイルス感染症の感染源（お客様・関係者に感染させない、クラスターを発生させない）とならない。その結果として事業を継続するための対応マニュアルを定めるものとする。

## 2 体制と役割

### 2.1 適用範囲

本マニュアルの適用範囲は、第一コンクリート株式会社内とする。

### 2.2 体制と役割

担当	役職	主な役割
責任者※	本社：社長 工場：工場長	新型コロナウイルス感染症感染防止に関する全体の管理責任を行う
管理者※	本社：管理部長 工場：工場長代理 または生産課長	責任者を補佐し、新型コロナウイルス感染症感染防止に関する日々の管理を行う
事務局	管理部事務担当者	事務連絡、窓口業務を行う

### 3 感染者発生により想定されるリスクと感染レベル

#### 3.1 感染者発生により想定されるリスク

(従業員に感染者または濃厚接触者発生)

- ① 従業員休業による業務一時中断
- ② 本社、各工場の一時的閉鎖
- ③ 入居ビル関係者への影響
- ④ 各生コン協同組合・納入先・販売店・取引関係者への情報展開と取引の一時中断
- ⑤ 当社に対する信頼性の低下

#### 3.2 感染防止に向けての区分

新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けての対応を以下に区分けしそれぞれの対応を行う。

感染レベル	状況	主な対応
レベル1	海外にて感染症発生・拡大	・ 正確な情報を収集し、自社としての対応性の必要性を判断する。
レベル2	国内にて感染症発生	・ 正確な情報を収集し、自社としての対応性の必要性を判断する。 ・ 従業員が感染する可能性が高いと想定しての社内の対応策の検討と体制を整備
レベル3	国内にて感染症拡大 (神奈川県内にて感染症発生・拡大)	・ 正確な情報を収集し、その状況に応じた対策を実施する
レベル4	本社、各工場従業員および関係者にて感染者・濃厚接触者発生	・ 正確な情報を収集し、その状況に応じた対策を実施する ・ 感染者、濃厚接触者発生時の対応実施
レベル5	本社、各工場従業員および関係者にて症状回復	・ 職場復帰に向けた準備と実施

### 3.3 感染防止に向けての対応

	社長 工場長 (責任者)	管理部長・ 工場長代理/生産課長 (管理者)	事務局 (事務担当者)	本社 各工場
レベル1 レベル2	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内状況把握と状況により、会社としての対応の必要性を判断、指示を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>社内状況把握、報告</li> <li>事務局と連携し、対応内容・指示事項の確認を行う</li> <li>責任者に報告・確認を行い、従業員および関係者へ情報展開、指示を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>社内状況把握、報告</li> <li>管理者の指示を受け、対応を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>本社・各工場の状況を事務局へ報告し、状況を共有する</li> <li>指示に従い、本社・工場ごとに対応の準備に着手する</li> </ul>
レベル3	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内外の状況から、会社としての対応の必要性を判断、指示を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外、国内、県内の最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>社内状況把握、報告</li> <li>事務局からの報告、提案内容を確認し、責任者へ答申する</li> <li>決定事項を、従業員および関係者へ情報展開、指示を行う（必要な備品関係、記録などの準備、展開）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外、国内、県内の最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>社内状況把握、報告</li> <li>状況を踏まえて、社内対応案を作成する。</li> <li>本社・各工場の対応策実施の支援を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>海外、国内、県内の最新情報を入手し、関係者へ展開する</li> <li>本社・各工場の状況を事務局へ報告し、状況を共有する</li> <li>指示に従い、本社・工場ごとに対応の準備に着手する</li> </ul>

<p>レベル4</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内感染者状況により、事業継続が難しい場合は、その可否の判断と、社内対策の徹底を指示する</li> <li>情報公開（HP等）を行う可否判断を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内感染者情報と対応案を、速やかに責任者へ報告し、確認する（ただし個人情報であることを十分に配慮すること）</li> <li>感染者および濃厚接触者に指定された従業員に対しては、保健所の指示に従い、最低でも指定期間は休業させる</li> <li>社内対応策の徹底を指示する</li> <li>感染者あるいは濃厚接触者の発生を社外関係者へ通知する必要性検討し、責任者に答申する</li> <li>情報公開（HP等）を行う場合は、その公開内容は個人情報に配慮して公開する</li> <li>問合せ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内感染者情報の収集を行い、速やかに実務管理者へ状況報告と対応案を検討する（ただし個人情報であることを十分に配慮すること）</li> <li>指示内容に基づき、本社・各工場の支援を行う</li> <li>情報公開（HP等）を行う</li> <li>問合せ対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本社・各工場の状況を事務局へ報告し、状況を共有する</li> <li>感染者の情報の情報を事務局に報告する（ただし個人情報であることを十分に配慮すること）</li> <li>保健所が行う疫学調査に協力する</li> <li>指示に従い、本社・工場ごとに対応を行う</li> <li>問合せ対応は、原則事務局が対応するとし、各工場では対応しないこととする</li> </ul>
-------------	---	--	---	--

<p>レベル5</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職場復帰タイミングの社内基準を承認し、当該該当者だけでなく、巡業員に対しても明確に考え方を示す。</li> <li>・ 職場復帰日を決定する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事務局からの答申を受け、会社としての見直しを責任者に答申する</li> <li>・ 改訂があれば職場復帰社内基準を周知徹底する</li> <li>・ 職場復帰日を責任者へ答申する</li> <li>・ 職場復帰日を連絡する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告状況を受けて職場復帰の可否社内判断基準の見直しの必要性を判断する。</li> <li>・ 見直しが必要であれば、速やかに改訂答申を行う</li> <li>・ 改訂があれば職場復帰社内基準を周知徹底する</li> <li>・ 職場復帰の可否判断申請を受付け、会社としての判断を答申する</li> <li>・ 職場復帰日を連絡する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染者および濃厚接触者に指定された従業員の症状回復状況を日々確認する</li> <li>・ 休業者の回復状況をヒヤリングし、職場復帰タイミング社内基準と照らし合わせて、職場復帰可否の判断求める</li> <li>・ 職場復帰についての決定事項を受けて対応する</li> <li>・ 休業者と相談しながら、職場復帰に向けた準備を行う</li> </ul>
-------------	--	---	---	---

## 4 感染防止策

### 4.1 職場における感染防止策

#### 4.1.1 事務所として

- ① 事務所入り口に、手指のアルコール消毒液を設置する
- ② 事務所入り口に、注意事項とお願いの張り紙を掲示する。  
☞ 掲示サンプル（別紙）
- ③ 人との間隔（ソーシャルディスタンス：人との間隔2m(最低1m)）を確保する。
- ④ ソーシャルディスタンスを確保できない場合は、マスクを常時着用し飛散防止対策（アクリル板等の遮蔽板の設置）を実施する。
- ⑤ 事務所あるいは会議室の室内空気が、滞留しないように窓を開けることが可能な場所は常時窓を開ける、あるいは換気を1時間に2回程度行う。また、休憩時間は、窓を開けて換気を行う。
- ⑥ 窓を開けることが出来ない事務所あるいは会議室は、扇風機あるいはサーキュレーター等を利用して空気の流れを作り滞留を防止する。
- ⑦ 入り口ドアを開けておくことが可能な場合は、開けたままにする。
- ⑧ 来訪者へは、必ず声を掛け、マスク着用の確認、手指の消毒を促し、検温を行う。  
（体温計が相手に接触した場合は、随時アルコール消毒する。）
- ⑨ 咳、頭痛、倦怠感を自覚し体調不良を感じている、あるいは37.0度以上の体温がある場合は、入室をお断りする。
- ⑩ 打合せ等は、できる限りオンライン実施とする。対面で実施する場合は、十分な換気とマスクの着用を行い実施すること。

#### 4.1.2 事務所の消毒

- ① 基本的な考え方は、事務所入り口にアルコール消毒液を常時設置し、入室の都度アルコール消毒を行う、または、石けんで手洗いを実施してから入室すること。
- ② アルコール消毒等については、以下の情報を参考に購入すること。  
「参考：新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について（厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ）」

#### 4.1.3 集合型の会議・研修等について

- ① 会議・研修等の開催は、必要性を再確認し、不要不急の場合は中止または延期とする。開催が必要な場合はオンラインとする。対面開催が必要な場合は、感染防止対策を実施した上で、必要最小限の人数で開催する。
- ② 会場の設営は、3つの密（密集・密接・密閉の回避）を避けたレイアウトとする。
  - ✓ 隣同士の間隔はできるだけ2m（最低1m）空けること。
  - ✓ アルコールの手指消毒液を設置する。
  - ✓ 受付等において参加者の検温を行う。（体温計が相手に接触した場合は、随時アルコール消毒する。）
  - ✓ 室内空気が滞留しないように、窓を開けることが可能な会場では、常時窓を開ける、



- あるいは換気を1時間に2回程度行う。また、休憩時間は、窓を開けて換気を行う。
- ✓ 窓を開けることが出来ない会場は、扇風機あるいはサーキュレーター等を利用して空気の流れを作り滞留を防止する。
  - ✓ 物品、機器等は、複数人での共有を避けること。
- ③ 会場の机上に注意喚起の掲示
- ✓ 別紙の「机上掲示用の注意喚起」を掲示する
- ④ 会場の消毒
- ✓ 会議・研修終了後に、会場の机、椅子、ひじ掛け、座面/背もたれ、複数人が触れる箇所（ドアノブ等）をアルコール消毒液で消毒を行う
  - ✓ 消毒作業、ごみの回収および廃棄を行う場合は、マスクと手袋を着用する
- ⑤ 参加者への注意喚起
- 会議・研修等の参加者に対し、事務連絡として新型コロナウイルス感染防止についての協力依頼を開催前（事前）に行う。
- ✓ マスクを持参し着用すること
  - ✓ 入室時はアルコール消毒液で手指の消毒を行うこと
  - ✓ 受付時に体温測定をすること
  - ✓ 参加者間で近距離での会話をしない
  - ✓ 会場内では食事をしない
  - ✓ 発熱や風邪の症状のある方は、参加を控える
  - ✓ 会議・研修の前後において、近距離での参加者同士の交流は控えること
  - ✓ 参加者が、会議・研修終了後に感染者および濃厚接触者となった場合は、可能な範囲にて主催者まで連絡をお願いする。
  - ✓ 万が一、会議・研修参加者で感染者あるいは濃厚接触者となった旨の連絡を受け、更に参加者が濃厚接触者に指定された場合は、個人情報伏せの上で、研修・セミナー参加者に通知することの説明とその同意を得る。

## 4.2 従業員自己健康管理による感染防止策

### 4.2.1 基本的な対策（3つの密「密閉」「密集」「密接」の回避等）

- ① 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けること。
- ② 症状の有無に係わらず、外出時も含め常時マスクを着用すること。
- ③ 会話をする時は、マスクを着用し、可能な限り真正面を避けること。
- ④ 手洗いは、約30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗うこと。
- ⑤ アルコール手指消毒液がある場合は、それを使用することも可。
- ⑥ 窓を開けるなどこまめな換気を行うこと。

### 4.2.2 日常的な健康状態の把握

- ① 出勤前に必ず検温すること。  
37.0℃以上の発熱、もしくは咳、頭痛、倦怠感、苦しさ（呼吸困難）等を自覚し、体調不良を感じる・認められる場合は、上司へ報告し、出勤せず自宅療養、速やかに医療機

関を受診すること。

- ② 各自、感染予防の行動をとること。  
マスクの着用、手指の消毒（手洗い）、咳エチケット
- ③ 「3密」となる環境を避けること。
- ④ 日頃からの健康管理を徹底すること。

#### 4.2.3 感染の有無を確認するための検査受診費用

- ① 体調不調によりかかりつけの医療機関を受診し、医師が必要と判断し受診した検査費用は、その指示に従うものとする。
- ② 会社は、従業員に対し、体調不調を理由に検査受診（PCR 検査・抗原検査・抗体検査）を勧めることは行わない。

## 5 感染者または濃厚接触者発生時の対応

### 5.1 感染者または濃厚接触者発生時の報告

感染者とは、新型コロナウイルス感染症に罹患、濃厚接触者とは、濃厚接触者として保健所に判断された場合をいう。

#### 5.1.1 個人情報の取扱い

新型コロナウイルス感染症に関する感染または濃厚接触者情報は、個人情報であることを十分に理解し、取り扱うものとする。

#### 5.1.2 報告

- ① 新型コロナウイルス感染症に罹患、濃厚接触者として判断され指示等により、出勤出来ない状況になった場合は、速やかに上司へ、以下の内容を報告すること。
  - ✓ 新型コロナウイルス感染症に罹患、濃厚接触者と判断された日
  - ✓ 事務所勤務時の行動範囲等
  - ✓ 濃厚接触者と推測される人
  - ✓ 現在の体調、療養先および療養期間
- ② 入院あるいは宿泊療養、自宅療養期間中は、可能な範囲にて1回/日程度、健康状態を上司に報告すること。
- ③ 報告ルートは、以下に記載したルートにて行う。
- ④ 従業員が、入院あるいは宿泊療養、自宅療養等で出勤出来ない状況になった場合の就業上の取扱いは、就業規則等の社内規定に従うものとする。

#### 5.1.3 職場にて感染または濃厚接触者が発生した場合

- ① 感染者発生を旨を入居するビルオーナーへ報告する。
- ② 消毒の実施は、入居するビルオーナーに相談し、消毒の実施方法を確定する。
- ③ 消毒は、原則として感染者の最後の使用から「3日間を経過していない場所」とする。
- ④ 消毒が完了し、安全を確保できるまでの期間、当該エリアの入室を禁止する。

#### 5.1.4 感染または濃厚接触者確定時の報告ルート

感染者または濃厚接触者と判断された従業員は、上司へ報告し、上司は事務局へ報告する。別に緊急連絡網が確立されている場合は、その連絡網にて報告する。



#### 5.1.5 会議・研修参加者の感染または濃厚接触者発生への対応

- ① 感染者発生を旨に入居するビルオーナーへ報告する。
- ② 消毒の実施は、入居するビルオーナーに相談し清掃の実施方法を確定する。
- ③ 消毒は、原則として感染者の最後の使用から「3日間を経過していない場所」とする。
- ④ 消毒が完了し、安全を確保できるまで当該エリアの入室を禁止する。

#### 5.1.6 例外対応

上記内容での対応が難しい場合については、その都度管理者の事前許可を得た上で対応すること。

## 5.2 感染情報の公開

### 5.2.1 感染者発生時の広報

情報を積極的に開示し、事実のみの情報を展開する。ただし、開示情報は個人情報であるため開示に対する社内規則を定めておくことが必要である。

- ① 関係機関への通知  
事業活動を行う上で必要と思われる関係機関に対し、電話あるいは書面をもって通知し理解を求める。
- ② ホームページでの情報開示  
広く情報を開示するツールとして、自社ホームページにて情報公開を行う。
- ③ ビルオーナーへの通知  
ビルオーナーへは、事務所の閉鎖の有無に関係なく、感染者あるいは濃厚接触者が発生した場合、状況を報告すること。
- ④ 事務所入り口・門等  
必要がある場合、来所者に対し、不安とならないように正しい情報を表示。

## 6 職場復帰に向けて

### 6.1 従業員が感染者となった場合の職場復帰

- ① 従業員は、保健所の指示のもと医療機関への入院、宿泊施設あるいは自宅療養にて回復に向け療養する。
- ② 感染者（有症者）の職場復帰タイミングは、次の二つ両方の条件を満たすこと
  - ✓ 発症後少なくとも10日間が経過している

- ✓ 解熱剤を含む症状を緩和させる薬剤を服用していない状態で、解熱後少なくとも72時間が経過しており、発熱以外の症状（咳・倦怠感・呼吸苦等）の症状が改善傾向である。
- ③ 無症状病原体保有者は、次の条件を満たすこと。
  - ✓ 陽性検体採取日から10日間が経過している。
- ④ ②、③のほか、有症状の場合は症状軽快後に、無症状病原体保有者の場合は陽性検体採取日から6日間経過後において、24時間以上間隔をあげ、2回のPCR検査の陰性を確認された場合に療養が解除される。
- ⑤ 上記タイミングを満たし「保健所が療養終了と判断(※)した場合、その旨を上司に報告し、相談の上、出勤日を決定する。自己判断での職場復帰は行ってはならない。  
(※)療養期間は、各自治体が判断します。
- ⑥ 会社は、職場復帰に向け、感染の有無の確認のためのPCR検査および証明書の提出は求めない

## 6.2 従業員が濃厚接触者となった場合の職場復帰

- ① 従業員は、保健所の指示に従い自宅待機・リモートワーク等にて対応する。
- ② 濃厚接触者職場復帰タイミングは、次のとおりとする。
  - ✓ 感染していた人と接触した後14日間は、健康観察を実施する。不要不急の外出は控える。
  - ✓ 発熱や呼吸器症状、倦怠感等が現れた場合、医療機関受診前に保健所に連絡する。
- ③ 上記タイミングを満たし「保健所が健康観察期間終了」と判断した場合、その旨を上司に報告し、相談の上、出勤日を決定する。自己判断での職場復帰は行ってはならない。
- ④ 従業員の健康状態・行動等については、プライバシーの問題もあり配慮すること。
- ⑤ 会社は、職場復帰に向け、感染の有無の確認のためのPCR検査および証明書の提出は求めない。

## 6.3 職場復帰の受入れ体制

### 6.3.1 職場の従業員に対する教育

- ① 感染者および濃厚接触者に対する偏見・差別の禁止  
職場復帰にあたっては、上記職場復帰のタイミングの条件を満たしているということは、感染を促すことがない期間に入っていることであることを、受入れ職場従業員へ説明し、理解を得ること。

### 6.3.2 職場の環境

- ① 前述の4.1.1の職場の感染防止策に記載している内容を職場内で再点検を行う。

## 6.4 職場復帰におけるメンタルヘルス（後遺症対応を含む）

### 6.4.1 感染者の健康状態の回復

- ① 職場復帰に当たっては、不安があることを認識し、かつ健康状態の回復は、個々に異なり、後遺症が残る場合も報告されている。
- ② 十分に当該従業員とコミュニケーションをとり、健康状態の状況、変化について、快く相談できる環境を整え、可能な範囲で対応する。
- ③ なかなか健康状態が改善されないような状況が継続するような場合は、医療機関受診を当該従業員へ勧める。

## 7 関連情報収集（主な入手先）

正しい情報・知識は、「最大の感染防止策である」ことを認識し、公的機関の情報を入手する。

- ① 労働者健康安全機構本部ホームページ  
職場における新型コロナウイルス感染症対策  
<https://www.johas.go.jp/sangyouhoken/johoteikyo/tabid/1761/Default.aspx>
- ② WHO ホームページ  
<https://www.who.int/>
- ③ 厚生労働省
  - ✓ 感染症情報ホームページ  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekka-kanseishou/](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekka-kanseishou/)
  - ✓ 海外感染症発生情報ホームページ  
<https://www.forth.go.jp/topics/fragment1.html>
  - ✓ 検疫所 FORTH ホームページ  
<https://www.forth.go.jp/index.html>
- ④ 外務省
  - ✓ 海外安全ホームページ  
<https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- ⑤ 国立感染症研究所
  - ✓ 国立感染症研究所 NIID ホームページ  
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/>
- ⑥ 東京都感染症情報センターホームページ  
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>
- ⑦ 神奈川県
  - ✓ 神奈川県衛生研究所ホームページ  
<http://www.pref.kanagawa.jp/sys/eiken/>

## 8 新型コロナウイルス感染症に関する公的相談先（主な自治体）

（最新情報については、自治体ホームページあるいは医師会ホームページで確認すること）

### 8.1 感染症の特徴、予防方法、有症時の対応など、新型コロナウイルス感染症に関する全般的なご相談の場合

神奈川県 新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

電話番号 0570-056774

一部 IP 電話など番号につながらない場合 045-285-0536

受付時間 24 時間（土日祝日を含む）

① 横浜市 新型コロナウイルス感染症コールセンター

電話番号 045-550-5530

受付時間 24 時間（土日祝日を含む）

② 川崎市 新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター

電話番号 044-200-0730 ワクチン接種の予約の場合は別

受付時間 24H（土日祝日を含む）

③ 相模原市 新型コロナウイルス感染症相談センター

電話番号 042-769-9237

受付時間 24 時間（土日祝日を含む）

④ 藤沢市（新型コロナウイルス感染症一般相談窓口）

電話番号 0466-20-1515

受付時間 8:30～17:15（平日のみ）

### 8.2 新型コロナウイルス感染症の感染疑いに関する相談の場合

新型コロナウイルスの流行地域からの帰国者や新型コロナウイルス感染症患者との接触歴のある方等からの相談を受け付け、同感染症の疑いに該当する方を診療体制の整った医療機関につなぎます。

① 神奈川県 新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル

電話番号・受付時間 上記 8.1 の記載内容と同じ）

② 横浜市 新型コロナウイルス感染症帰国者・接触者相談センター

電話番号・受付時間 上記 8.1 の記載内容と同じ）

③ 川崎市 新型コロナウイルス感染症・ワクチン接種コールセンター

電話番号・受付時間 上記 8.1 の記載内容と同じ）

④ 相模原市 新型コロナウイルス感染症相談センター

電話番号・受付時間 上記 8.1 の記載内容と同じ）

⑥ 横須賀市 帰国者・接触者相談センター（新型コロナウイルス感染症受診相談センター）

電話番号 046-822-4308

受付時間 8:30～20:00（平日） 9:00～17:00（土日祝日を含む）

⑦ 藤沢市保健所 帰国者・接触者相談センター

電話番号 0466-50-8200

受付時間 9:00～21:00（土日祝日を含む）

- ⑧ 茅ヶ崎市 新型コロナ受診相談センター  
電話番号 0467-55-5395  
受付時間 9:00～19:00（平日） 9:00～17:00（土祝日、日曜休み）

## 9 周知徹底

本マニュアルは、従業員全員が熟読し、正しい行動がとれるようにすること。

## 10 本マニュアルの改訂

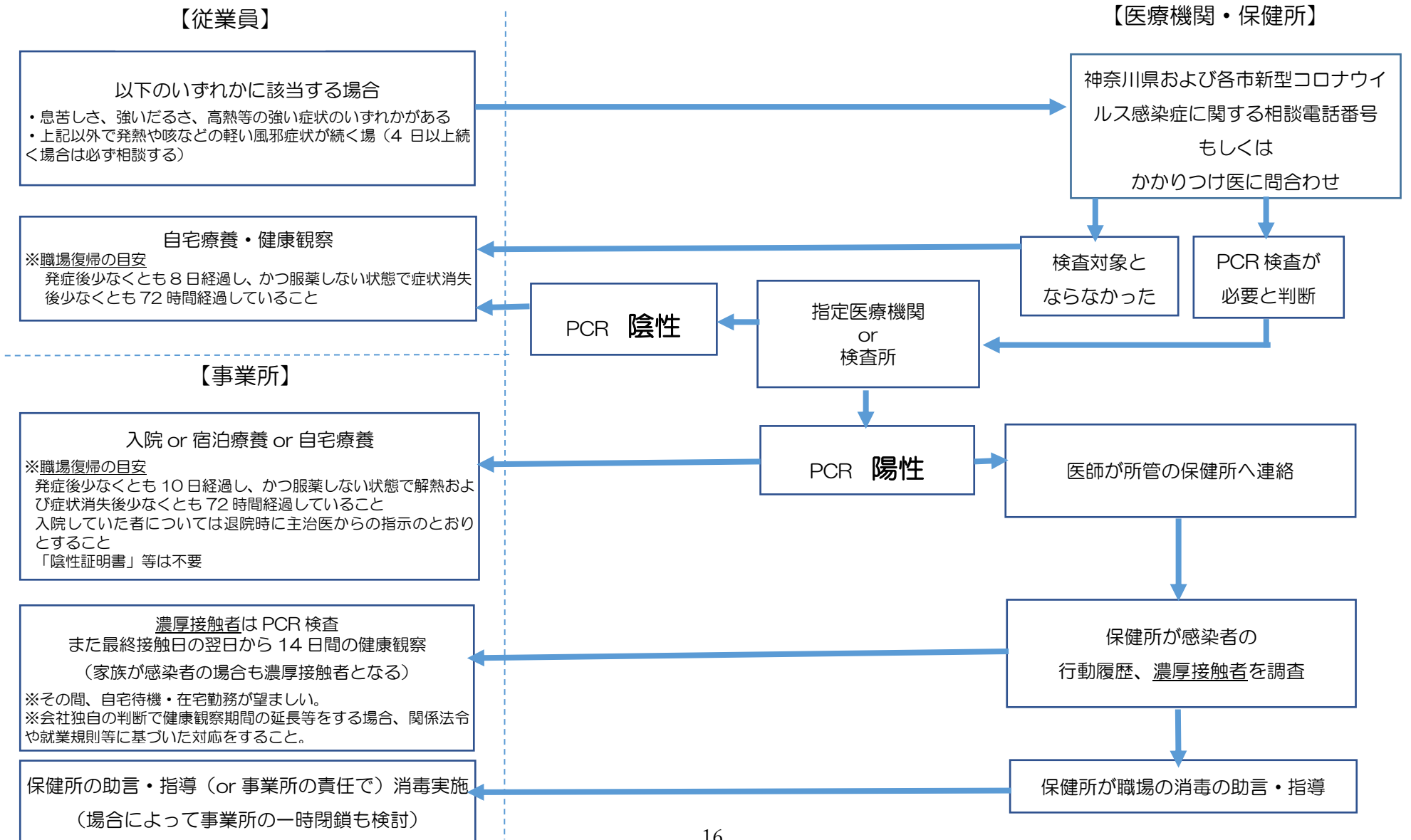
- 10.1 新型コロナウイルス感染症に関する状況が変化し、対応内容に変更が必要になった場合、本マニュアルを見直し、改訂する。
- 10.2 神奈川県下において独自の対応が必要となった場合、必要に応じ本マニュアルを見直し、改訂を行う場合がある。
- 10.3 本マニュアルは、事務局担当者が作成、管理者が内容を確認、責任者が承認の上、改訂するものとする。

以上

## 制定・改訂履歴

制定	令和4年1月28日 新たに制定
改訂	令和 年 月 日 を改訂

# 新型コロナウイルス対応フロー





(事務所入り口掲示)

ご来所の皆さまへ  
新型コロナウイルス対応についてのお願い

感染拡大防止のため、当社への来訪の際は、以下の対応をお願い申し上げます。ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。

1. マスクの常時着用

当社では、所内感染防止の観点から、皆さまにマスクの着用をお願いしております。

マスク着用がない場合には、入室をお断りいたします。

2. 手指消毒・検温

当社入口に消毒液を設置しております。

入室時には、手指消毒および検温のご協力をお願いします。

検温結果が37.0度以上ある場合は、入室をお断りいたします。

3. 来訪時のお願い

体調がすぐれない方、同居の方で発熱がある方は、ご来訪をご遠慮していただきますようお願いいたします。

電話やメール等でのご相談が可能な内容の場合は、来訪せず電話やメール等をご活用ください。

第一コンクリート株式会社

(机上用)

会議・研修 参加の皆様へ  
新型コロナウイルス感染防止対応についてのお願い

感染拡大防止のため、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. マスクの常時着用

受講中は、感染防止の観点から、マスクの着用をお願いします。

2. 検温・手指消毒

(ア)入室の際、当社入口で、検温を致します。

(イ)また、手指の消毒をお願いします。

3. 換気

(ア)会議室の換気のため、窓を常時空けております。

(イ)会議室の空気の流れを作り滞留を防止するため、サーキュレーターを稼働しております。

4. その他

(ア)休憩中の会話は、必要最小限にとどめ、他の方との距離を確保する等、感染防止にご協力ください。

(イ)受講中に、体調がすぐれなくなった場合は、速やかに事務局までお申し出ください。

(ウ)その他、お気づきの点がありましたら、ご遠慮なく事務局まで申し出てください。

当社では、参加の皆様への新型コロナウイルス感染防止に向けて対応させていただきます。ご理解いただき、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

第一コンクリート株式会社